

異彩作家が彩る、「ヘラルボニーバス」運行開始 ～岩手県北バス、みちのりHDとの共創の取り組み。盛岡バスセンター 一開業1周年を機に実施～



■概要

株式会社ヘラルボニー（以下、ヘラルボニー）は、岩手県北自動車株式会社（以下、岩手県北バス）およびその親会社にあたる株式会社みちのりホールディングス（以下、みちのりHD）との共創の取り組みとして、異彩作家の作品が彩る盛岡市内循環バス、通称「ヘラルボニーバス」の運行を開始いたします。

なおバスのデザインは、2021年の盛岡新バスセンター工事の際、仮囲いに描かれたバスの絵を基に制作しました。私たちはこれからも岩手に根付く歴史を尊重しながら社会を前進させる会社でありたいと考えています。

■「ヘラルボニーバス」が生まれるまでの物語

1950年に開業した旧盛岡バスセンター。
老朽化に伴いお色直しをすることに。



2021年7月。
盛岡新バスセンターの建設工事が始まりました。
工事現場と街の人たちの間にあったのは、大きな仮囲いです。



私たちはそれを街中に現れた大きな白いキャンパスに見立てました。
その名も「Wall Art Museum」。



新しいにぎわいの場ができることへのワクワク感を街の人に感じてもらえるようにこれまでのバスセンターや色鮮やかなバスの絵を描きました。



2022年10月。
仮囲いがはずされ、新しいバスセンターが完成。



(近代建築社撮影)

盛岡新バスセンター完成後、この1年で利用した人の数は約97万人（※）です。

そして、2023年10月。

仮囲いに描かれたバスが「ヘラルボニーバス」として姿を現しました。



■もっと優しい「ヘラルボニーバス」とは？

ヘラルボニーが目指すのは「美しい」ただそれだけではありません。「ヘラルボニーだから大丈夫」と個性を受け入れやすい空間をつくり、利用される方々の心のハードルを下げることも重要だと考えています。そこで運行開始するヘラルボニーバスが「もっと優しいバス」になるためには、何が必要か。これをきっかけに全世代の方が、バスの利用について改めて考えるきっかけになればと下記の特別課外授業を企画・実施しました。

■特別課外授業

テーマ：「もっと優しいバス」とは？

盛岡市の中学生に課題や解決策を提示してもらった特別課外授業を実施。

参加生徒：盛岡市立厨川中学校3年生（約30名）

授業企画：及川仁美（盛岡市立厨川中学校教諭）

事前授業：9月28日（木） 盛岡市立厨川中学校

課外授業：10月4日（水） 岩手県北バス本社



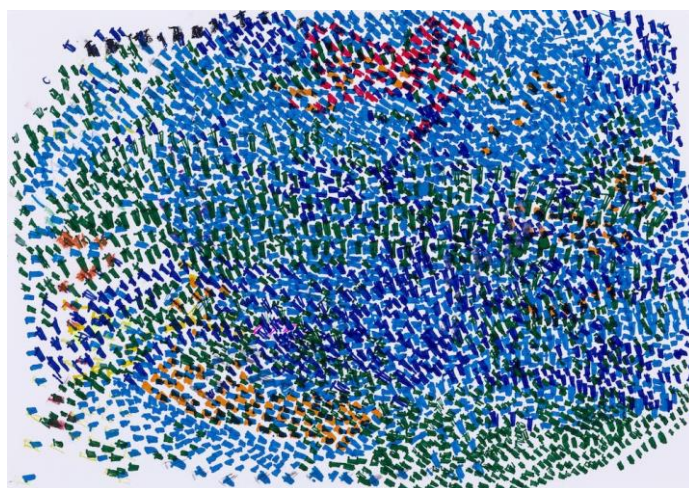
■岩手県北バス・みちのりホールディングスの参画について

岩手県北バス・みちのりホールディングスのコメント

「岩手県北バスおよびみちのりホールディングスは、ヘラルボニーの哲学に深く賛同し、その活動に敬意を抱いていました。このような背景から、今回、『ヘラルボニーバス』という形でコラボレーションできたことは光栄なことです。

また、行先も移動の目的も異なる、さまざまな人々が乗合い、ふれあうのが路線バスですが、そのような多様性を前提にした“優しい”移動手段であることという路線バス本来の役割や特性を再確認し共有したものを『ヘラルボニーバス』として実現しました。」

■作家紹介



作品：「（無題）」



作家名：工藤みどり

在籍：るんびにい美術館（岩手県花巻市）

ある時はふわふわと、夢見るように周囲の誰かに笑顔で話しかけていたり。またある時は、一人自分の内側の世界に深く意識を沈めていたり。工藤のまなざしは、彼女の心だけに映る何かを追いかけて

たゆたう。心を満たす幸福なイメージが浮かぶのか。それとも痛みや悲しみを心に映さないようにするためなのか。それとも。工藤の制作は、瞑想から生み出されるような果てしなさがある。自分が今なにかを作り出しているという意識はあるのだろうか――。彼女が描く時、縫う時、あるいはよくわからない「なにか」をしている時。ふとそんな疑問を感じさせる、不思議な空気が彼女の制作には漂っている。

■運行開始日

10月10日（火）

盛岡市内～近郊市町村への路線バスとして運行を開始いたします。

■平日運行ダイヤについて

盛岡バスセンター3番のりば 7:20発 → 沼宮内営業所 8:50着

沼宮内営業所 10:10発 → 盛岡バスセンター 11:35着

盛岡バスセンター4番のりば 13:30発 → 松川温温泉 15:32着

松川温泉 16:20発 → 盛岡バスセンター 18:21着

※上記が平日運行ダイヤとなる予定ですが、車両点検、車両配置替等により今後変更となる場合があります

※岩手県北バスのバスロケーションシステムでもヘラルボニーバスの現在地情報などが表示されます。

詳細：<https://mc.bus-vision.jp/iwate-kenpokubus/view/searchStop.html>

■盛岡バスセンター年間利用者数について

※期間：2022年10月～2023年9月

※推計方法：盛岡市から提供されたデータを基に盛岡ローカルハブ(株)が推計。

【株式会社ヘラルボニー概要】

ヘラルボニー

ヘラルボニーは「異彩を、放て。」をミッションに掲げる、福祉実験カンパニーです。

日本全国の主に知的な障害のある福祉施設、作家と契約を結び、2,000点を超える高解像度アートデータの著作権管理を軸とするライセンスビジネスをはじめ、作品をファッションやインテリアなどのプロダクトに落とし込む、アトライフスタイルブランド「HERALBONY」の運営や、建設現場の仮囲いに作品を転用する「全日本仮囲いアートミュージアム」など、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開しています。これらの社会実装を通じて「障害」のイメージ変容と、福祉を起点とした新たな文化の創造を目指します。社名である「ヘラルボニー」は、知的障害のある両代表の兄・松田翔太が7歳の頃自由帳に記した謎の言葉です。「一見意味がないと思われるものを世の中に新しい価値として創出したい」という意味を込めています。

会社名：株式会社ヘラルボニー / HERALBONY Co.,Ltd.

所在地：岩手県盛岡市開運橋通2-38

代表者：代表取締役社長 松田 崇弥、代表取締役副社長 松田 文登

公式サイト：

<https://www.heralbony.jp>

<https://www.heralbony.com>

【岩手県北自動車株式会社株式会社概要】



会社名：岩手県北自動車株式会社

所在地：岩手県盛岡市厨川一丁目17番18号

代表者：代表取締役社長 松本 順

公式サイト：<http://www.iwate-kenpokubus.co.jp/>

【株式会社みちのりホールディングス概要】



会社名：株式会社みちのりホールディングス Michinori Holdings, Inc.

所在地：京都千代田区丸の内一丁目9番2号 グラントウキョウサウスタワー8階

代表者：みちのりホールディングス代表取締役グループCEO 松本順

公式サイト：<https://www.michinori.co.jp/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ヘラルボニー

岩手コミュニティマネージャー：矢野 智美

E-mail：tomomi@heralbony.com

Tel：080-8218-4640

岩手県北自動車株式会社

乗合事業部：坂井 翔

E-mail：s-sakai@iwate-kenpokubus.co.jp

Tel：019-641-7770

株式会社みちのりホールディングス

広報：工代 将章

E-mail：m.kudai@igpi.co.jp

Tel：03-6250-1075